

HTML の基礎学習(1)

ホームページの作成も段々進んで来ると、編集画面と並べて[ソース]画面を開く機会も多くなると思います。ホームページは[HTML]という言葉で作られています、ホームページビルダーを使うとこのような面倒な事を覚える必要なくホームページを作る事が出来ます。そのため、最初は[HTML]は必要ないと思われた方も、ファイルの更新や編集時のエラー修正時に[ソース]画面で操作することが極めて効率的だと気づかれた事と思います。これからCSS を駆使してきめ細かなファイル造りを行う為にも、最小限度[HTML]に対する基礎知識を身に付けることが先々大変役立つ事になります。ホームページの復習を兼ねて数回に分けて[HTML]の基礎知識について説明しますので、基本の部分と主要な[タグ]だけでも覚えていただきたいと思います。

[HTML]とは、英語で[Hyper Text Markup Language]と呼ばれ、web ページを作成する為に使われる言語の一種です。要するにホームページは、HTML が基本として作られているという事です。

[タグ(Tag)]という用語が多く出てきますが[タグ]とは、[<]と[>]でくくられた HTML の命令です。多くのタグは[開始タグ]と[終了タグ]が対になっていて、この開始タグと終了タグでくくられた部分の文字列がタグの命令に従って表示されます。例外的に終了タグが必要ないものもあります。

[属性]とは、タグの内容を更に細かく設定するときに使われます。

[タグ]は、必ず[半角英数]で書きます。ホームページのファイル名も必ず[半角英数]で書きますが、大文字・小文字はどちらでも構いません。又、複数の[属性]を指定する場合は、[半角スペース]で区切ることが条件です。

(註) ビルダーの操作ではこれらの操作は必要ありませんが、これから[タグ]を記述するケースが出てきたときの基礎知識として覚えておくと便利です。

1. ページの基本設定

ページを作成するために必要なタグは次の通りです。ファイルの最初は<html>で始まり終了は</html>です。貴方の編集画面の[ソース]を開いて見てください。必ずこのようになっています。

```
<html>
<head>
<title>旅のスケッチブック</title>
</head>
<body>
Kenichi の旅行記
</body>
</html>
```

<html></html> <head></head> <body></body>この3つのタグがファイルを構成する基本的なタグです。

```
<html></html>
<head></head>
<title></title> このタグは、ブラウザの上に表示され、画面に表示されませんが、画面に表示されるタイトルは[見出し(h1-h6)]です。
```

```
<body></body>
<font></font>(size、color) 文字の大きさや色を指定するタグです。
```

```
<align>(left、center、right) 配置する場所を指定するタグです。
```

```
<p></p> <div></div> 段落のタグです。
```

```
<br> 改行タグで、終了タグは必要ありません。
```

キーボードの記号		
“	ダブルクォーテーション	Shift + 2 ふ
#	いげた	Shift + 3 あ
%	パーセント	Shift + 5 え
/	スラッシュ	め
:	コロソ	け
;	セミコロソ	れ
¥	円マーク	¥ ー
~	チルダ	Shift + へ
_	アンダーバー	Shift + ろ
=	イコール	Shift + ぼ

2. 文字の修飾

文字の修飾には次の2通りの方法があります。

文字列の大きさ、色、フォントの指定。

見出しの設定、フォントサイズの指定、色の指定、フォントの指定

様々な文字修飾の設定、特殊文字の表示

太字、斜体、下線、取消線、特殊文字

見出しには<h>を使います。

見出しには、<h1>から<h6>まであります。

見出しの文字色を付けるには、と書きます。

見出しの位置を設定するには、<h align=“位置”></h >と書きます。

位置には[left][center][right]が指定できます。

フォントの装飾では[太字][斜体][下線]などの設定を行います。サイズには[基準値][相対値]がありますが、通常は基準値を使います。基準値には1から7までの数字を使います。

サイズの設定には。

フォント(字体)の設定には 。

太字 斜体<i></i>下線<u></u>

一部の文字列のサイズを、基準のサイズからの相対的な大きさに指定したい場合に使います。

この場合は基準となるフォントサイズを指定します。

記述例

```
<basefont size="4">
<font size=" + 3">旅</font>
<font size=" + 2">のスケッチブック</font>
```

文字列の色を変更するにはの color 属性を使います。文字色は、[色の名前]又は[カラーコード]で指定します。

記述例

```
<font color="#339966">旅のスケッチブック</font>
```

フォントはの属性で指定します。

記述例

```
<font face="Verdana">Welcome to my homepage</font>
```

太字 文字列

斜線 <i>文字列</i>

下線 <u>文字列</u>

取消線<s>文字列</s>

特殊文字、上付き、下付きの設定は省略

3. レイアウトの設定 1(段落の位置)

文字列の位置を指定する書き方。

左ぞろい <p align="left"></p>

中央ぞろい <p align="center"></p>

右ぞろい <p align="right"></p>

4. レイアウトの設定 2(複数の段落)

複数の段落や、画像、表などを纏めて設定する場合は次のように書きます。

左ぞろい <div align="left"></div>

中央ぞろい <div align="center"></div>

右ぞろい <div align="right"></div>

改行の場合は
を使います。

5. レイアウトの設定 3(中央ぞろえ)

複数の文字列や、画像などを中央に揃えるには<center></center>を使います。

単独で中央に配置する場合は<h2 align="center">旅行記</h2>

すべてを中央に配置する場合は<center> <h2>旅行記</h2> <p>
</p></center>

6. レイアウトの設定 4(pre)

文字を HTML 文書に入力したとおりの形で表示させるには<pre>文字列</pre>を使います。

(註) これを覚えておくと大変便利ですが、ビルダーの編集画面では操作出来ません。[ソース]への書き込みが必要です。タグを覚えておきましょう。

7. レイアウトの設定 5(リストの作成)

リストの作成には次のように記述します。

目次

```
<ul>
```

```
<li>プロフィール</li>
```

```
<li>旅行記</li>
```

```
<li>日記</li>
```

丸[c i r c l e]四角[s q u a r e]番号[o l]などがあります。書き方は<ul t y

p e = " c i r c l e " >の様に書きます。 番号つきリストは<o l>で書きます。

7. 区切り線

区切り線を引くには<hr>を使います。
<hr>には終了タグ</hr>は必要ありません。
区切り線の太さを表示するには、<hr size= " " >と書きます。
区切り線の色を設定するには、<hr color= " 色" >と書きます。
区切り線の長さを設定するには、<hr w i d t h = " % " >と書きます。

ページを構成する基本的タグについて説明しましたが、ホームページビルダーを使ってファイルを作成するには、前にも述べましたが、このようなタグを書き込む必要は全くありません。従ってタグをすべて覚える必要はありませんが、習慣として編集画面の[ページ/ソース]で作業すると自然にタグが身に付くと思います。

尚、私のホームページに[HTML 研修ノート]を掲載してありますので、関心の有る方はご覧いただければ幸いです。